

平成 20 年度第 2 回さいたま市まちづくり交付金評価委員会議事概要

H20.11.20(木) 9:30~12:00
大宮ソニックシティ 707 会議室

前回質問への回答

- ・ 武蔵浦和駅周辺地区の放置自転車に関して、現在再開発事業により 540 台整備する計画となっている。目標値 1,200 台に対して、H19 モニタリングでは 1,400 台であったため、目標値を達成できる見込みである。
- ・ 日進駅周辺地区の満足度について、事業着工前の H13 は整備項目のうち効果がありそうな項目を選択するという設問であった。まだ事業が完了していない H20 モニタリングでは 50 名を対象に整備項目に対する満足度を 5 段階評価で設問している。設問内容が異なるため、比較できないが、H13 には計画内容に賛同いただけていることから「やや満足」と判断し、比較することとした。事業が完了してからフォローアップする。

(事務局：浦和東部地区、東岩槻駅周辺地区、岩槻駅西口地区のまちづくり交付金事後評価の内容説明)

【浦和東部地区】

- 委員：国際アメニティタウンとはどのようなものか。
- 事務局：埼玉県のみちづくりプロジェクトとして立ち上げられた構想である。さいたま市の都市計画マスタープランでも埼玉県の構想を受け、位置付けをしている。
- 委員：実施過程に関して、まちなみ検討調査でどのようなことやってきたのか。また、スポーツクラブの創設については今後どうする予定か。
- 事務局：将来の街なみ検討を土地利用ゾーンごとに実施し、イメージの共有化を図った。スポーツクラブについては、既に民間により創設されている状況である。
- 委員：まちづくり交付金事業では駅前広場と東口階段を整備したのみであるが、活動場所を整備したわけではない。地域活動に対する満足度など総合所見がピンとずれしているのではないか。
- 事務局：関連事業として区画整理が実施されており、アクセス性が向上したなど総合的に評価して満足度が高まっていると判断した。
- 委員：すべての指標に関してまちづくり交付金事業ではなく、関連事業が各指標に直接貢献していることとなっている。まちづくり交付金事業が直接貢献している「その他指標」や「定性的な効果」を書き込むことが望ましい。
- 委員：書き方の問題であると思う。評価シートには三段論法的に効果があると記載されているが、事業内容が変わったため、効果が見込めないと書いてもよいのではないか。
- 委員：指標 5 の目標値が 85% とは、高すぎるのではないか。修正できないのか。
- 事務局：制度上、当初計画で設定した目標値を変更することはできない。
- 委員：表現の問題であるが、まちの課題に「健康・福祉機能をはじめとする～」は「健康・福祉を目的とする～」ではないのか。
- 事務局：ご指摘の通り修正する。
- 委員：定住人口に関連して、区画整理で計画されているものはどれくらいなのか。
- 事務局：計画面積は 320ha であり、100 人/ha としていたので、32,000 人が計画人口である。
- 委員：従前値と目標値だけではどのように考えて指標を設定したのかが見えない。評価シートとは別に補足資料として整理しておくことが望ましい。
- 委員：今後の検討事項もあるが、浦和東部地区に関する評価手続きについて承認いただけるか。

一同了承

【東岩槻駅周辺地区】

- 委員：定性的な効果をもっとPRすべきではないか。南口改札、駅前広場、エレベーター等のバリアフリー施設など、定量的な評価が無理でも定性的な効果は明白である。
- 委員：区画整理に関連した効果が影響されている。指標を横並びにしているとわかりづらい。
- 委員：整備効果は実際に現れているのであるから、当初目標値が高すぎて、効果が現れていないだけではないか。
- 事務局：まさに今後の計画づくりには反映すべき事項だと思っている。
- 委員：住民参加プロセスの中でアンケート等を取ることが考えられないか。評価することを見込んで行動することが必要であろう。
- 委員：指標4とその他指標の関連が良くわからない。
- 事務局：指標4は、集計方法が変更になったため、従前値と同条件で評価値を計測できなくなった。そのため、同じ条件で従前値を評価することのできるその他の指標を設定した。
- 委員：課題の変化は、()内のコメント「南口からの乗降人数の増加、東岩槻駅周辺の商業環境の活性化の促進につながる。」の方が重要なことだと思うので、表現を工夫すべきである。
- 委員：人口の定着が進んでいない中で、今後の課題として商業的な活性化を図ることで定住促進を図ることが必要となってきたということとなる。
- 事務局：ご指摘のとおり表現を工夫する。
- 委員：今後の検討事項もあるが、東岩槻地区に関する評価手続きについて承認いただけるか。
一同了承

【岩槻駅西口地区】

- 委員：指標について、事業評価の考え方はアウトプットではなく、アウトカムであることがうたわれているが、本地区の指標はアウトプット指標である。不適切な指標ではないのか。その他指標でアウトカム指標が必要である。
- 事務局：検討する。
- 委員：区画整理が基幹事業であるので、定着人口等を計測してみてもどうか。
区画整理の進捗状況はどうか。
- 事務局：H19までに道路整備が18%、建物移転が25%、事業全体では選考買収等含めると約半分の進捗である。今年度で完了予定であったが、H30まで事業期間延長を見込んでいる。
- 事務局：地区内にもマンションができており、人口も増えつつある。
- 委員：指標で目標が当初事業計画から設定されているものなのか。
- 事務局：当初事業計画を立てて、その通り進捗している。実際、移転物件が相当多いので、遅れず進捗していることは評価できると考えている。
- 委員：定性的な効果で、地区外の住宅が増えたことを記載してはどうか。
- 事務局：地区に隣接して北側でマンションが分譲されているので、定性的な表現を加える。
- 委員：乗降客数の変化はどうか。
- 事務局：若干減少していると聞いているが、ほとんど変化がないといえる。
- 事務局：現在は西口がないが、事業に伴いここ10年内で開設されるかもしれない。
- 委員：今後の検討事項もあるが、岩槻西口地区に関する評価手続きについて承認いただけるか。
一同了承

【今後のまちづくりについて】

- 委員：前回の3地区は駅前の高度利用を図ろうとする地区だったと思う。今回の3地区は駅前ではあるが、住宅主体の適切なまちを区画整理で長期的に整備している地区である。まちをつくっていくことと、まちを維持運営していくことを長年続けてきたと思う。今後もそれを持続していくことを考えることが重要である。
- 他地区と異なる個性を付けていくことが重要となる。浦和東部地区はサッカーや健康をテーマに取り組みされている。岩槻駅西口地区は「人形の町」というイメージがあるが、具体的にどう取り組むかが課題であろう。東岩槻駅周辺地区はどこを手がかりに取り組むべきか見えてこないところである。事務局で今後のまちづくりについて案があれば説明してほしい。
- 事務局：東岩槻駅周辺には、土地区画整理事業によって整備された良好な住宅地が広く分布していることから、駅前付近は地区中心として整備していくことが必要であると考えます。
- 委員：岩槻駅西口地区は歴史性もあり、他地区と性格が違う。既存コミュニティがあるところであり、ルールづくりだけではなく、今の資源をうまく活かすソフト的な取り組みが望まれる。
- 岩槻駅西口地区と比べると、東岩槻駅周辺地区はイメージが浮かびにくい。
- 浦和東部地区は埼玉スタジアムがあるからスポーツと言うのは短絡的である。埼玉スタジアムもどれだけ市民が利用できるものか、疑問である。あまりスポーツにこだわらなくても、他にクオリティを高めることも考えるべきである。既存の緑を活かすなどの利用を考えるべきである。
- 委員：各地区の事情があろうが、ここ5年は恵まれた時代であったといえる。これからは人口減少、経済も悪化しているので、難しい時代になることは確かである。指標で人口定着が多くない地区で掲げられているが、今後はうまくいかないと思う。新たな指標を見つけておかないといけないと思う。
- 委員：浦和東部地区では、急激に人口が増えるようだが、公共側の負担が増えるようでもある。民間が主体で取り組む事業が削除されているので、今後はうまくすみわけ（例えば、保育園など）を整理して、目標を考える必要があると思う。
- 東岩槻駅周辺地区はイメージがつきにくいですが、北側は古くからの住宅地で、南側に新しい住宅地が整備されている。古いまちの住民は高齢化が進み、その対応が必要であり、新旧住民が交流し、生活・公共サービスなどの充実について具体的に記載しても良いのではないかと。
- 岩槻駅西口地区では商店街が厳しい状況になってきている。それを活性化していく、支援していくソフト的な事業を入れていくことが大切である。旧市街地では高齢化が進行している地域であるので、バリアフリー（駅橋上化など）等の見直しが必要であろう。
- 委員：人口が増えない状況になる。指標については、事業期間中に直せるのであれば直すべきである。また、まち交の成果を指標で確認できない場合は、その他指標を上手く活用して、成果を確認すべきである。
- 浦和東部地区は人口増加するだろうが、市民農園みたいなものがあれば、新旧住民の接点にもなる。埼玉スタジアムの下に食糧が蓄えられているので、防災施設として考えるのもよい。
- 東岩槻駅周辺地区に関して、歩道がしっかり整備されたまちは高級感があると思う。カート等もすれ違えることができるような歩道を整備してはどうか。
- 岩槻駅西口地区に関しては、駅西口には注目している。
- 委員：住宅をつくっても人が入らない状況になる。人が暮らすまちとして、駅周辺の暮らしやすさをどうつくっていくかが重要となる。住宅密度を減らすとか、高齢者施設を前倒しでつくっておくとか、今から本気で考える時代になったと言える。
- 浦和東部地区では東口活性化のため、空き地等を活用し生活支援の施設をつくるなどが考えられる。まちに何が必要かは、そのまちに住んでいる人との話し合いが大切で、まちづくり交付金を積極的に活用することが望まれる。
- 委員：東岩槻については、市内の住み替えによる人口増加が想定される。一方では整備し、

新しいストックをつくっておきながら、一方では不良ストック（空き屋）をつくっている状態であろう。これらの観点を踏まえた区画整理の実施が必要である。

委員：今後は駅周辺に住み替えることが考えられる。

委員：古いまちは古い宅地造成法等に基づきつくられているので、不安が残るのではないか。

委員：今後のまちづくりに対して承認いただけるか。

3地区とも承認